

略語集

1. 温室効果ガス

表 1-1 京都議定書の対象とされる温室効果ガス

化学式	物質名
CO ₂	二酸化炭素
CH ₄	メタン
N ₂ O	一酸化二窒素
HFCs	ハイドロフルオロカーボン
PFCs	パーフルオロカーボン
SF ₆	六ふっ化硫黄

表 1-2 前駆物質及び間接ガス

化学式及び略号	物質名
NO _x	窒素酸化物
CO	一酸化炭素
NMVOC	非メタン揮発性炭化水素
SO ₂	二酸化硫黄

2. 接辞語及び単位

表 2-1 接辞語

記号	読み	定義
P	ペタ	10 ¹⁵
T	テラ	10 ¹²
G	ギガ	10 ⁹
M	メガ	10 ⁶
k	キロ	10 ³
h	ヘクト	10 ²
da	デカ	10 ¹
d	デシ	10 ⁻¹
c	センチ	10 ⁻²
m	ミリ	10 ⁻³
μ	マイクロ	10 ⁻⁶

表 2-2 単位

単位	定義
m ³	立方メートル
l	リットル
a	アール
ha	ヘクタール
g	グラム
t	トン
J	ジュール
°C	度（摂氏）
yr	年
cap	人
d.m.	乾物

3. 注釈記号

表 3-1 注釈記号（詳細別添 5.参照）

注釈記号	定義	邦訳
NO	Not Occurring	ガスの排出・吸収に結びつく活動が存在しない
NE	Not Estimated	未推計
NA	Not Applicable	活動は存在するがガスの排出・吸収が原理的に起こらない
IE	Included Elsewhere	他に含む
C	Confidential	秘匿

4. その他略号

表 4.-1 その他略号

英略語	定義	邦訳
AAU	Assigned Amount Units	初期割当量
ARD	Afforestation, Reforestation and Deforestation	新規植林、再植林、森林減少
BFG	Blast Furnace Gas	高炉ガス
BOD	Biochemical Oxygen Demand	生物化学的酸素要求量
CFG	Converter Furnace Gas	転炉ガス
CGER	Center for Global Environmental Research	地球環境研究センター
CO ₂ eq.	Gas Emission in CO ₂ equivalent	二酸化炭素換算値
COD	Chemical Oxygen Demand	化学的酸素要求量
COG	Coke Oven Gas	コークス炉ガス
CRF	Common Reporting Format	共通報告様式
CS-EF	Country-Specific Emission Factor	国独自の排出係数
EF	Emission Factor	排出係数
FM	Forest Management	森林経営
GCV	Gross Calorific Value	総発熱量（高位発熱量）
GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
GIO	Greenhouse Gas Inventory Office	温室効果ガスインベントリオフィス
GPG	Good Practice Guidance	グッドプラクティスガイダンス
GPG (2000)	Good Practice Guidance and Uncertainty Management in National Greenhouse Gas Inventories (2000)	温室効果ガスインベントリにおけるグッドプラクティスガイダンス及び不確実性管理報告書
GPG-LULUCF	Good Practice Guidance for Land Use, Land-Use Change and Forestry	土地利用、土地利用変化及び林業に関するグッドプラクティスガイダンス
GWP	Global Warming Potential	地球温暖化係数
IEA	International Energy Agency	国際エネルギー機関
IEF	Implied Emission Factor	見かけの排出係数
IPCC	Intergovernmental Panel on Climate Change	気候変動に関する政府間パネル
JNGI	Japanese National GHG Inventory	日本国温室効果ガスインベントリファイルシステム
LDG	Linz-Donawitz converter Gas	転炉ガス
LNG	Liquefied Natural Gas	液化天然ガス
LPG	Liquefied Petroleum Gas	液化石油ガス
LULUCF	Land-Use, Land-Use Change and Forestry	土地利用、土地利用変化及び林業
MDI	Metered Dose Inhalers	定量噴射剤
NCV	Net Calorific Value	真発熱量（低位発熱量）
NGL	Natural Gas Liquids	天然液化ガス
NIES	National Institute for Environmental Studies	国立環境研究所
NIR	National Inventory Report	国家インベントリ報告書（日本国温室効果ガスインベントリ報告書）
QA/QC	Quality Assurance / Quality Control	品質保証/品質管理
RDF	Refuse Derived Fuel	廃棄物固形燃料
RPF	Refuse Paper and Plastic Fuel	古紙・廃プラ固形燃料
RV	Revegetation	植生回復
TOE	Tonnes of Oil Equivalent	石油換算トン
UNFCCC	United Nations Framework Convention on Climate Change	国連気候変動枠組条約

- 編著担当者： 地球環境研究センター（CGER）温室効果ガスインベントリオフィス（GIO）
野尻幸宏 （マネージャー）
赤木純子 （GHG インベントリエキスパート）
畠中エルザ （GHG インベントリエキスパート）
早瀬百合子 （GHG インベントリエキスパート）
平井圭三 （GHG インベントリエキスパート）
伊藤洋 （GHG インベントリエキスパート）
尾田武文 （GHG インベントリエキスパート）
大佐古晃 （GHG インベントリエキスパート）
酒井広平 （GHG インベントリエキスパート）
玉井暁大 （GHG インベントリエキスパート）
ホワイト雅子 （GHG インベントリエキスパート）
- 編著協力者： 榎剛史 （三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社）
川島一真 （三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社）
森本高司 （三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社）
佐藤淳 （三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社）
寺川卓志 （三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社）
藤嶋康夫 （株式会社数理計画）
岡田正和 （株式会社数理計画）
植田洋行 （株式会社数理計画）
吉沢清晴 （株式会社数理計画）

日本国温室効果ガスインベントリ報告書

2011年4月

国立環境研究所地球環境研究センター 温室効果ガスインベントリオフィス（GIO）編
環境省地球環境局総務課低炭素社会推進室 監修

2011年4月発行

発行元

独立行政法人 国立環境研究所

〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

電話：029-850-2777

FAX：029-850-2219

E-mail：www-cger@nies.go.jp

http://www.nies.go.jp/

本レポートは、ホームページ <http://www.cger.nies.go.jp/ja/activities/supporting/publications/report/index.html> から pdf 形式で閲覧できます。

本書を国立環境研究所に無断で転載・複製することを禁じます。

リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料 [A ランク] のみを用いて作製しています。

